

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成26(2014)年4月15日発行(第165号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

瀬戸内海国立公園指定80周年

瀬戸内海国立公園の指定から80周年を迎えた3月16日に、屋島山上で80周年記念行事のキックオフイベントが開催されました。

当日は、約1,000人の参加者が集まり、セレモニーやライブなど多彩な行事を満喫しました。



平成26年
3月定例会

春号

目次

代表質問	2~4
質疑ほか	5~7
情報BOX	8

定例会の日程

3月4日	開会・提案説明・閉会中継続調査報告
7・10日	代表質問
11・12日	質疑
13日	質疑・特別委員会審査
14・17・18・19日	常任委員会審査
24日	委員長報告・討論・採決・追加議案提案説明・委員会審査
25日	委員長報告・採決・閉会

今定例会で決まった主な内容

〔市長提出議案〕

平成26年第1回高松市議会定例会は、3月4日から25日までの22日間の日程で開かれました。今定例会では、平成26年度一般会計予算など58議案と意見書3件を可決しました。また、陳情5件のうち、4件を不採択、1件をみなす不採択としたほか、人事案件6件に同意しました。

●平成26年度当初予算

▽一般会計	1526億円
▽特別会計	1034億714万2000円
▽企業会計	506億9554万5000円

●平成25年度補正予算

▽一般会計	43億2770万5000円の増額
▽特別会計	17億6292万3000円の増額
▽企業会計	5億81万7000円の減額

●条例

- ▽特定の任務に従事する機能別団員を新たに任命するための条例改正
- ▽障害者福祉金及び年齢77歳の高齢者に支給する敬老祝金を廃止するための条例改正
- ▽伝統的ものづくりの振興を図ることにより、本市の特色ある伝統文化の継承及び発展並びに創造性豊かなまちづくりに寄与するための条例制定

〔議員提出議案〕

●意見書

- ▽ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書
- ▽安定的な雇用と労働環境の確保に関する意見書
- ▽食の安全・安心の確立を求める意見書

代表質問

各会派を代表して、大橋光政（同志会）・山崎数則（柿ヶ原会）・山田 勲（公明党）の3人の議員が質問しました。

質問の主な内容

大橋光政議員（同志会）

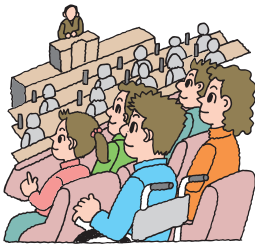
政治姿勢・財政・まちづくり・防災・観光振興・文化芸術・福祉・教育

山崎数則議員（柿ヶ原会）

政治姿勢・財政・公契約条例・少子化対策・組織機構の見直し・防災対策・農業・教育

山田 勲議員（公明党）

政治姿勢・防災減災対策・社会保障制度改革の推進・電力小売自由化・電子書籍の貸し出しなど



まちづくり

本市としてのコトデン瓦町ビルの効果的な活用方を取りまとめる

質問

高松天満屋撤退後のコトデン瓦町ビルが、リニューアルオープンするまで1年もかかることから、駅周辺の衰退を招かないよう、早急に同ビルでの行政サービス機能の充実を図り、にぎわい創出に努める考えは。【同志会】



コトデン瓦町ビルの市民サービスセンター

回答

同ビルの魅力向上に取り組むため、同ビルのワンフロア程度を借り上げ、市民サービスセンターの機能拡充や、市民ギャラリー的なスペースの整備など、他の公共的サービスへの活用も検討する。

行政改革

庁内プロジェクトチームを設置し、公契約に係る課題を整理する

質問

人材不足による人件費上昇などで、公共事業での入札不調が続いている。本市が発注する公共事業で、人材や若年労働者の雇用を確保するためにも、公契約条例を制定すべきだが、制定に向けた検討委員会設置の考えは。【柿ヶ原会】

回答

条例制定のための検討組織の設置は考えていないが、入札不調の頻発など厳しい状況が続くので、市場の実勢価格等を的確に把握し、機動的に対処するための庁内プロジェクトチームを近く設置する。この中で、国や他都市の動向等の把握に努め、公契約に係る課題を整理する。

公共データのオープンデータ化を推進

質問

国は、平成24年7月に開催した「IT総合戦略本部で、政府み

ずから積極的に公共データを公開し、誰もが利用しやすい形での公開とするなど、オープンデータを推進することとしている。

本市でも、行政の透明性や信頼性の向上等が図られるよう、その取り組みを推進する考えは。【公明党】

回答

従来から人口動態などで編集等が可能なエクセル形式で公開しているが、2次利用も容易にできるRDF形式などのオープンデータで公開することで、利便性の向上等が期待できる。今後、国や他市の事例等を参考に、オープンデータの推進に取り組む。



地区センター（仮称）

受け入れ体制が整う地域には、可能な業務から順次、モデル的な委託を検討

支所・出張所のあり方を検討している地域行政組織再編計画では、地区センター（仮称）で、現在の出張

所と同様の窓口サービスを提供することとしています。

【質問】

財政的に厳しい現状を抱えている地域コミュニティ協議会を支援するために、地区センターで行う業務を、可能な限り同協議会に委託する考えは。

【市議会】

【答弁】

出張所で提供している現行のサービス水準を同センターでも維持することを第一と考えているので、再編と同時に全業務を委託することは困難だが、地域での合意形成など受け入れ体制が整う地域には、可能な業務から順次、モデル的な委託を検討する。



文化・観光

高松市美術館

アートの拠点としての美術館を積極的にアピールする。高松市美術館では、平成28年3月のリニューアルオープンに向けて、改修準備を進めています。

【質問】

改修効果を最大限発揮するため、魅力的で市民にも親しみやすい美術館になることを、

積極的にアピールする考えは。【同志会】

【答弁】

26年度からは、専門家のアドバイスを受けながら、街中の文化芸術と美術館との融合を図り、アートの拠点としての美術館を積極的にアピールする。また、休館中も改修の進捗状況などの情報発信を継続するとともに、ロゴマークや愛称の作成も検討する。



改修されることとなった高松市立美術館

あらゆる機会を捉え、より一層、台湾との各種交流に努める

【質問】

3月30日から台湾との定期航空便が増便されるので、これを機に、県等とも連携し、さまざまな分野で台湾との交流を積極的に進める考えは。【同志会】

【答弁】

今年7月下旬には、台湾の桃園市にある国立武陵高級中学校の管弦楽団を県が招聘し、香川ジュニアオーケストラとの合同演奏会を予定している。これを活用した高松第一高等学校合唱部との共演も準備しており、今後も、観光・文化・芸術団体等との交流など、あらゆる機会を捉え、より一層、台湾との各種交流に努める。



福祉

障害者就労施設等からの優先調達を推進し、障がい者の自立促進につなげる

【質問】

障害者優先調達推進法が昨年4月に施行され、障害者就労施設等からの受注機会の増大を図ることや、物品調達方針を作成することなどが求められているが、今後の本市の取り組みは。【同志会】

【答弁】

平成26年度の調達方針では、調達目標額を、25年度の約4倍の2千万円とし、優先発注の取り組みを拡大する。また、この取り組みの実効性を高めるため、各課に

優先調達推進員を配置するほか、本市主催の各種行事等で配布するチラシ等の印刷発注で、同施設からの優先調達を推進し、障がい者の自立促進につなげる。

婚活支援

より効果的な事業が展開できるよう、かがわ子育て支援県民会議との連携を図る

【質問】

少子化対策の大きな柱として、若者たちに出会いの場をつくり、結婚まで結びつけることが喫緊の課題と考えるが、本市でも、予算確保を含め、婚活支援に積極的に取り組む考えは。【市議会】

【答弁】

これまで、県内全自治体や企業を構成員として、県が設立した「かがわ子育て支援県民会議」を通じて、イベント情報の発信など、婚活支援事業を実施してきた。

今後とも、このような官民一体となった事業を通じて婚活支援に取り組み、必要に応じて予算措置も検討しながら、より効果的な事業が展開できるよう同会議との連携を図る。

生活困窮者自立促進支援モデル事業

自立相談支援事業と就労準備支援事業を実施

【質問】

経済的に困窮している人を早期に支援するための生活困窮者自立支援法が昨年成立した。これを受け、平成26年度予算では、生活困窮者自立促進支援モデル事業費が計上されているが、具体的な取り組みは。【公明党】

【答弁】

同法の27年度施行に先立ち、同モデル事業として、必須事業の自立相談支援事業と、任意事業のうち、就労準備支援事業を実施する予定である。自立相談支援事業は、生活困窮者に包括的な相談支援を行うもので、6月の窓口開設に向け準備を進める。就労準備支援事業は、一般就労が難しい困窮者に、就労に向けた基礎的な能力の訓練を行うものである。





防災

さまざまな機会を捉え、新たな防災マップの周知啓発に努める

質問

2月に概要が示された新たな防災マップは、災害時に必要な情報が細かく記される反面、約100ページにも及ぶため、市民に十分見てもらえないことが懸念され、いかに活用してもらうかが課題と考えるが、その方策は。

【同志会】

答弁

同マップの作成に当たっては、自主防災組織等の意見を聞きながら、掲載内容を精査・整理し、市民に関心を持ってもらえるよう、わかりやすい紙面構成にする。

また、地域コミュニティ継続計画策定時の有益な資料として活用するほか、防災訓練などのさまざまな機会を捉え、周知啓発に努める。

備蓄対策

県と連携し、より広域的に企業等から物資を調達できる仕組みを構築する

質問

県が2月に公表した南海トラフ地震の第3次被害想定によると、発生直後の本市の避難者数は、7万2千人であるが、1カ月後には、水道水の確保が難しく、自宅避難者が避難所に頼らざるを得なくなるため、8万8千人にふえると想定されている。大変な人数になる避難者への食料や水等の備蓄対策は。

【市議会】



指定避難所の備蓄の様子

答弁

指定避難所等への備蓄には限界があるので、備蓄計画を根本的に見直し、避難者数がふえた場合にも柔軟に対応できるように、県と連携し、より広域的に企業等から物資を調達できる仕組みを構築する。

消防団員確保のため、処遇改善に努める

質問

近年、局地的な台風等の自然災害が頻発し、地域防災の重要性が注目を集めているが、全国的に団員数は減少している。昨年12月の「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行を受け、消防団員の処遇改善を図る考えは。

【公明党】

答弁

消防団員には、年報酬をはじめ、災害等に出動した際の費用弁償等を支給しており、平成24年6月には、費用弁償増額などの処遇改善を図った。

また、退職報償金を増額する条例改正も予定しており、今後も消防団員の確保のため、処遇改善に努める。



教育

家庭教育

地域ぐるみで家庭教育力向上を図る

質問

家庭教育は、子供が基本的な生活習慣や社会のルールを身につける上で重要であるが、核家族化等による家庭での教育力の低下が問題となつ

ており、家庭教育支援に積極的に取り組む考えは。

【同志会】

答弁

本市では、家庭教育力向上に向け、子育て専門講師による講演会など、啓発に取り組んでいるが、平成26年度からは全小中学生に生活習慣を見直すための生活リズムチェックシートを配布する。

また、現在2つのモデル地域で実施している「家庭・地域の教育力向上推進事業」の成果を、市内全域に普及啓発するなど、地域ぐるみで家庭教育力向上を図る。

平成26年度に教室不足等の対策方針を取りまとめる

質問

児童生徒数が急増している学校では、教室不足に加え、屋内運動場等も狭く、重要な行事でさえ、一部児童が教室で参加する状況にあり、即対応すべき問題と考える。教育委員会からは対策が示されていないが、どう考えているのか。

【市議会】

答弁

児童生徒の急増に伴う教室不足等は、学校運営や子供たちの学習

環境に直接かわる問題であるため、今後の児童生徒数の推移を見きわめながら、それに即した増改築や、用地確保等に優先的に取り組み、平成26年度に対策方針を取りまとめる。

読書通帳

様式を作成し、図書館のホームページ上への掲載や窓口での配布等を検討

質問

活字離れが指摘される中、借りた本の履歴を目に見える形で残す「読書通帳」は、市民の読書意欲を高める効果が期待できるため、本市でも小中学生をはじめ市民に配布し、さらなる読書活動を推進する考えは。

【公明党】

答弁

読んだ本の記録を残すことは、読書推進の取り組みとして有効なので、学校図書館とも連携を図る中で、「読書通帳」などの様式を作成し、本市図書館のホームページ上への掲載や、窓口での配布など、実施方法等を検討する。

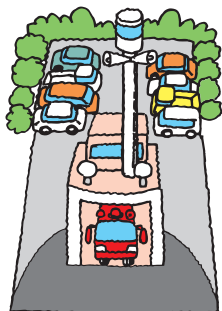


質 疑

市政のさまざまな課題について、13人の議員が質疑しました。

**消防屯所の整備充実を
小比賀勝博議員（同志会）**

質疑 現在、消防屯所の計画的な整備が行われているが、現有の屯所には団員専用駐車場や待機場所等のスペースが確保されていないものが多いので、屯所の整備を充実させる考えは。



答弁 消防屯所の整備は、車庫等の狭隘度や施設の老朽度、用地の確保状況等を考え、各分団の定員に応じた広さを確保し、駐車場等のスペースを考慮し

**専門の見地から旧牟礼支所解体工事のアスベストに関するデータの公表を
三野ハル子議員（補う紙）**

た建てかえなどを実施しており、今後とも計画的な整備に努める。
【他の質疑▼農政改革への対応・入札不調問題など】

質疑 旧牟礼支所の解体工事において、多量のアスベストの存在が判明し、安全対策に、地域から不安の声が上がっている。
アスベストは微粒子物であるため、専門の見地からデータを公表するなど、安全対策に努める考えは。



答弁 国の指針等に基づき、除去作業前、作業中、作業後に粉じん濃度を測定し、安全確認している。今後、その適正処理と

**PM2.5の注意喚起情報を、外出中などの市民にも瞬時に提供する方策は
大山高子議員（公明党）**

飛散防止を最優先に工事を進めるとともに、データの公表方法も検討する。
【他の質疑▼市長のマニフェスト2011の進捗度】

質疑 PM2.5の大気中濃度が高まり、健康被害が懸念される場合の注意喚起情報を、外出中などで情報が届きにくい市民にも、瞬時に提供する方策は。



答弁 県からの注意喚起市ホームページで情報提供を行うとともに、電話等で学校などに連絡している。今後、県と連携しながら、メール等を活用した情報配信システムの構築を進める。
【他の質疑▼防災対策・がん対策・障害者支援など】

**地域包括ケアシステムの構築は、コミュニティの再生と連動した取り組みを
一川浩三議員（無所属）**

質疑 地域包括ケアシステムの構築は、地域高齢者に向けた事業なので、コミュニティ再生と連動させて取り組む考えは。



答弁 同ケアシステムの構築は、医療・介護サービス事業者や自治体、地域などが有機的に連携することにより実現するもので、特に住まいや生活支援サービスは、地域コミュニティとの連携や協調が不可欠である。
そのため、それぞれの事業を密接かつ有機的に連動させ、「コミュニティの再生」と「地域包括ケアの実現」の双方を、効果的に推進する。

**高松盆栽大会の事業内容
波多 等議員（同志会）**

質疑 10月29日から11月1日まで開催される高松盆栽大会を成功させ、本市特産品の松盆栽等を国内外へ広く紹介するとともに、関係者の意識啓発や販路拡大等に努めるべきだが、同大会の事業内容は。

答弁 玉藻公園では、特別展等を、鬼無植木盆栽センターでは、植木盆栽まつりを、国分寺盆栽センターでは、展示・販売会を開催する予定である。
同大会を特産品PRの絶好の機会と捉え、漆器や庵治石などの展示も大会運営委員会と調整する。
【他の質疑▼地域行政組織再編計画など】



命のとうとさを諭し、他人の立場に立って行動できる人間づくりの教育を

森合忠造議員（同志会）

質疑

2年前の大津市の自殺が報道されたが、いじめは、どの学校でも、どの子供にも起こり得る問題なので、命のとうとさを諭し、他人の立場に立って行動できる人間づくりの教育が大切と思うがどうか。



答弁 道德の時間に、助命を大切にすることを考えたり、いじめ問題についていろいろな立場から考えを深め合うなど、実践につながる指導を行っている。

今後、生命のとうとさを、他者を思いやる心を育

み、いじめのない学校づくりに努める。
【他の質疑】▼防災対策・農業など】

ふるさと納税寄附者への贈答品を見直す考えは

中西俊介議員（希う組）

質疑

ふるさと納税寄附者に特産品などの贈答品を贈ることは、寄附金を効果的に集めるだけではなく、高松のPRにもつながると考えるが、現状では魅力に欠けるので、見直す考えは。



答弁 寄附件数が低調であるほか、地場産品の販路拡大が課題となっているので、本市のふるさと納税のあり方を抜本的に見直す時期がきている。

今後は、産業振興の観点から、贈答品の見直しを

め、ふるさと納税制度の新たな運用方法を検討する。
【他の質疑】▼高齢者施策・街路灯の維持管理など】

観光振興策として観光大使制度の拡充を

春田敬司議員（公明党）

質疑

本市観光地等の紹介・宣伝・提言を行うため、国内外で活躍する人などを観光大使に委嘱する制度があるが、制度の対象者以外にも転勤等で本市を訪れ、本市を愛し、その魅力を伝えてくれる人が大勢いるので、観光振興策として同制度を拡充する考えは。



答弁 現行の制度とは別

の形で、本市の観光地や物産など、本市ならではの魅力や情報等を広く発

信し、観光宣伝に協力してくれる人を「高松ファン（仮称）」に認定するような制度の創設を検討する。
【他の質疑】▼学校教育における吹奏楽器など】

琴電のイルカカードによる高松港発着の船便利用の拡大を

落合隆夫議員（同志会）

質疑

次回の瀬戸内国際芸術祭での観光客の利便性向上のため、琴電のイルカカードによる高松港発着の船便利用を拡大する考えは。



答弁 現在、小豆島航路と宇高航路で同カードを利用して旅客乗船券を購入できるが、それ以外の

男木・高松航路など、芸術祭で会場となる島々への航路についても、同カードのシステム導入を、琴電や航

路事業者と協議を進める。
【他の質疑】▼市の保有するデータの管理と保全など】

カーフリーデー高松を実効性のある事業に

十川信孝議員（同志会）

質疑

ヨーロッパのカーフリーデーは、過度に依存した車の使い方



答弁 平成26年度は、公用促進に資する取り組みを、9月16日から22日までの「モビリティウィーク」の期間を通して、充実させるとともに、内容を一部見直す。

また、自動車交通の抑制と公共交通の利用促進に向けた意識改革を図るため、



【他の質疑▼防火・教育問題・介護保険】

答 弁 山田地区乗り合いタクシー等実行委員会が主体となり、利用者のニーズを踏まえた運行ルート等の見直しや、積極的な周知啓発に努めたため、平成25年度2月末までの利用者数は5千421人で、昨年の同時期より千186人ふえています。

質 疑 山田地区乗り合いタクシー、通称「コミバスどんぐり号」は、地元住民などの要望に運行業者等が柔軟に対応したことで利用状況が向上きつたと聞かれますが、その状況は

山田地区乗り合いタクシーの利用状況は
藤原正雄議員（同志会）

イベント内容も工夫し、実効性のある事業にする。
【他の質疑▼コミュニティセンターの整備計画など】

答 弁 被保護世帯数の急増により、本市のケースワーカーは、社会福祉法の標準数を下回っている。生活保護事務の円滑な遂行の観点だけでなく、職員の健康管理も考慮し、まずは平成26年度にケースワーカー13人を増員する。
【他の質疑▼防災・学校施設・下水道事業など】



質 疑 生活保護ケースワーカーの仕事は、受給者の相談業務や援護を担当するほか、生活指導にも取り組むなど、激務であるが、本市では、その人数が標準数を満たしていないと聞いている。職員の健康管理のためにも増員する考えは。

生活保護ケースワーカーの増員を
大見昌弘議員（同志会）



答 弁 同補助金は、商店街振興組合等が行う、中心市街地の持続的なにぎわい創出につながるソフト事業などが対象とされており、同補助制度の活用を視野に、商店街振興組合等を支援しながら、中心市街地の活性化に取り組む。
【他の質疑▼スポーツ振興、包括外部監査など】

質 疑 去る2月、中心市街地再興戦略事業費補助金等の創設など、中心市街地の活性化に関する法律の一部を改正する法律案が国会に提出された。この支援措置は、丸亀町商店街等の活性化に大きな波及効果をもたらすため、積極的に活用する考えは。

丸亀町商店街等の活性化に国の支援措置の活用を
岡下勝彦議員（同志会）

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち15件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	同志会	市民フォーラム21	公明党	無所属		
					二川	香川	岡田
市長提案	平成26年度高松市一般会計予算	可決	○	○	×	○	×
	平成26年度特別会計（2会計）予算（高松市国民健康保険事業・介護保険事業）	可決	○	○	○	○	×
	平成26年度高松市水道事業会計予算	可決	○	○	×	○	×
	高松市塩江ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×
	高松市消防手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×
	高松市市民福祉金支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×
	高松市子ども・子育て支援会議条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×
	高松市学校条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×
	高松市建築関係手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×
	平成25年度高松市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	×
陳情	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める陳情	不採択	×	○	×	×	○
	「ブラック企業」根絶へ、実効ある施策を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	○	×	×	○
	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	○	×	×	○
	「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	×	○	×	×	○

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の活動など

●所管事務調査

総務消防	テーマ/ファシリティマネジメントの取り組みについて	
	2月18日	公共施設の統廃合や売却等に当たっては、維持管理や経営等の視点だけでなく、地域住民のニーズや既存の民間事業者の業務内容なども考えることなどを要望することで意見を集約し、調査を終了しました。
教育民生	テーマ/小学校における英語教育の推進について	
	2月10日	学んだ英語力やコミュニケーション能力を活用する機会を設けることで、子供たちの学習意欲の向上を図ることなどを要望することで意見を集約し、調査を終了しました。
経済環境	テーマ/地域経済の活性化に向けた産業振興方策について	
	2月17日	企業誘致を促進するため、進出希望企業の意向等を的確に把握した上で、業種を絞った優遇制度を充実することなどを要望することで意見を集約し、調査を終了しました。
建設水道	テーマ/市道の安全対策について	
	2月20日	先進都市で効果が見られた路側帯のカラー化を導入することなどを要望することで意見を集約し、調査を終了しました。

●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

都市交通対策	2月19日	ことடன்新駅設置の検討状況、公共交通利用促進施策等について説明を受け、協議しました。
総合防災対策	2月17日	高松市防災マップの改正について説明を受け、協議しました。

●議会運営委員会

今任期中の議会基本条例制定に向けて、1月30日、2月21日、3月27日に開き、条例の構成及び条文内容について協議しました。

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	2月20日	地域行政組織再編計画(素案)
	3月24日	平成26年度地方税制改正、屋島山上拠点施設基本構想(案)、第4次職員数の適正化計画の見直し
教育民生	1月29日	健康都市高松推進ビジョン(仮称)の素案、国民健康保険および介護保険の保険給付費適正化計画の策定
経済環境	12月27日	高松市南部地域スポーツ施設(仮称)整備基本構想(案)
	2月4日	一般廃棄物処理基本計画の変更
	2月17日	瀬戸内国際芸術祭2013の報告、高松市美術館改修基本計画(案)の概要
建設水道	2月20日	下水道事業計画区域外の生活排水対策
教育民生・総務消防(合同)	2月24日	高松市子ども未来館(仮称)事業運営計画(案)、高松市子ども未来館(仮称)等事業スケジュールの見直し、高松市平和記念館(仮称)展示基本設計(案)

人事案件

次のとおり選任・推薦に同意しました。

- 副市長(選任)
加藤 昭彦 氏
- 公平委員会委員(選任)
松本 タミ 氏
- 固定資産評価審査委員会委員(選任)
樋口 清子 氏 三木 真由美 氏
- 人権擁護委員候補者(推薦)
尾形 敬子 氏 万野 妙子 氏

市議会ホームページをご利用ください

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

高松市議会の取り組みを確認できます。

市議会ホームページでは、市議会の仕組み、議員、会議日程、本会議での質問者・質問項目、提出議案や議決結果などをお知らせしているほか、これまでに発行した、過去の市議会レポートも掲載しています。

また、会議録検索システムでは、会議録を手軽に検索できます。さらに、インターネットによる本会議のライブ中継及び録画映像の配信を行っていますので、ぜひご覧ください。

